

年間指導計画と題材の配列一覧表

【4年】

指導時期	主題名	副主題名	指導内容	指導の観点
4月 交通安全	1 通学路での交通安全	1 道路を横断するとき	安全な横断の仕方	自動車に注意して、遠回りでも安全な横断歩道を利用するように徹底させる。
		2 雨の日の歩き方	天候の悪い日の安全な歩き方	運転者からも歩行者が見えにくいことを理解させ、普段以上に気をつけるよう心がけさせる。
		3 ふみ切の事こと原いん	踏切の種類と安全施設の理解、踏切の渡り方	踏切事故は命に関わる重大な事故になることを理解させる。
		4 通学路でのきけんについて話し合おう	通学路にある危険の確認	道路での悪ふざけや寄り道による危険ばかりではなく、暗くなる時刻や天候による危険についても考えさせる。
5月 生活安全	2 はんざいから身を守る	1 知らない人に声をかけられたら	誘拐や犯罪の被害から身を守ることの重要性	一人で行動するときの注意点を考えさせ、日頃から実践させる。
		2 一人でいるときに気をつけること	一人で帰宅するときの注意点	周囲の安全を確認するとともに、身を守る方法を身につけさせる。
6月 災害安全	3 さい害時のひなん	1 こんな場所でさい害が起きたら	災害に対する事前の対策と地震発生時の初期行動	どのような場所で地震が起きても安全に避難できるようにさせる。
		2 ひなんするときの約束	地震発生時の避難の仕方	「おさない」「かけない」「しゃべらない」「もどらない」を順守させる。
7月 生活安全	4 熱中しょうと光化学スモッグ	1 熱中しょうに注意しよう	熱中症の予防と応急手当	熱中症を予防するための体調管理や応急手当の方法を確認させる。
		2 光化学スモッグ	光化学スモッグの発生、症状と対応方法	光化学スモッグが発生しやすい天候を知るとともに、健康被害の予防に努めるように心がけさせる。
9月 災害安全	5 気象さい害	1 台風	台風のときの安全行動	台風の被害の大きさを理解し、生命を守る努力をする態度を育成する。
		2 川のぞう水、高波、土しゃさい害	自然災害の恐ろしさの理解	自然災害の恐ろしさを理解させ、身の守り方を考えさせる。
		3 かみなり	雷が発生したときの避難行動	雷が発生したら、「まだ遠いから大丈夫」などと安心しないで、すみやかに避難するように心がけさせる。
		4 たつまき	竜巻の被害と避難行動	竜巻の被害の大きさを理解させ、正しい避難行動について考えさせる。
		5 ひなんする場所とひなん所での生活	避難場所の確認、避難所でのルールやマナー	家族で避難先を話し合わせるとともに、避難所でのルールやマナー、自分の役割について考えさせる。
10月 生活安全	6 運動や遊びとけが	1 校庭での遊び	運動施設の誤った使い方による事故の予防	学校での遊びのきまりを順守して、事故が起こらないように遊ぶ態度を育成する。
		2 体育館での遊び	体育施設の利用と場所に合った遊びの工夫	学校での遊びとしてはいけない遊びを考えさせ、実践させる。
		3 きけんな場所やわけを考えてみよう	学校内や地域にある危険の理解	危険な遊び方や危険な場所での遊びを理解させ、安全に遊ぶように心がけさせる。
		4 けがが起きやすいのはどんなとき?	けがの原因とけがが起こりやすい状況の理解	けがが起こりやすい状況について考えさせ、けがを防ぐための工夫ができるようにさせる。
		5 けがの手当	けがの手当の仕方	擦り傷や打撲の手当の方法を確認させる。
11月 交通安全	7 自転車の安全	1 安全な乗り方	自転車の正しい乗り方の理解と安全走行のきまりの確認	自転車の正しい乗り方と危険な乗り方について考えさせ、安全に自転車に乗ることを徹底させる。
		2 発進・停止の仕方	自転車の発進と停止の際の安全確認の方法	発進と停止の際には、まず周囲の安全確認が大切であることを理解させる。
		3 右折の仕方	正しい右折の仕方の確認	信号機のある交差点と信号機のない交差点での安全な右折の仕方を確認させる。
		4 安全点検	自転車の安全点検の仕方	点検を怠った自転車による事故を具体的に説明し、安全点検の重要性を確認させる。
	8 乗り物の安全	1 自動車の停止きより	自動車の停止距離を考慮した交通安全	自動車の停止距離を理解させ、急な飛び出しをしないことを徹底させる。
		2 自動車の内輪差・自動車の死角	自動車の左折時の事故と自動車の死角の理解	自動車の内輪差による事故の可能性と自動車の死角による危険を理解させる。
		3 安全しせつや道路標しき	安全施設のはたらきや道路標識の意味の理解	安全のために安全施設の利用を徹底させるとともに、道路標識の意味を確認させる。
		4 電車を待つとき	駅のホームでの危険な行動の理解	ホームでの事故は命に関わる大きな事故になることを理解させる。
		5 電車が来たら	電車を利用するときの注意事項とマナーの確認	電車の乗降の際の注意点と車内でのマナーについて考えさせる。
	12月 生活安全	9 冬の生活の安全	1 だんぼう器具による事こ	暖房器具を使用するときの注意点の確認
2 火事をふせぐ			火事の原因と火災予防の理解	火事を防ぐために生活のなかで気をつけることを考えさせる。
3 病気の集だん感せんをふせぐ			感染の経路と感染症の予防の理解	感染の経路を理解させ、感染症を予防する工夫について考えさせる。
4 雪による事こ			雪が降っている日の危険の理解	積雪時には普段とは異なる危険があることを理解させる。
1月 生活安全	10 電話の安全な使い方	1 あやしい電話がかかってきたら	不審な電話がかかってきたときの対応	不審な電話がかかってきたときの対応の仕方を話し合わせる。
		2 けい帯電話とあやしいメール	携帯電話の危険な側面の理解	携帯電話の利用の仕方について考えさせ、危険な状況に陥らないように実践させる。
		3 けい帯電話を使うときのマナーと安全	携帯電話を使用するときの注意点の理解	周囲の人に迷惑をかけない携帯電話の使い方を徹底させるとともに、事故につながる使い方について考えさせる。
2月 生活安全	11 地いきでの安全	1 はんざいが起こりやすい場所	犯罪が起こりやすい場所の確認	身近な地域にある犯罪が起こりやすい場所を発表させ、犯罪に巻き込まれないように注意する態度を育成する。
		2 こども 110 番の家	こども 110 番の家の役割の理解	身の危険を感じたときは、こども 110 番の家や近くの大人などに助けを求められるようにさせる。
		3 地いき安全マップ	地域の安全マップの作成	こども 110 番の家の場所や安全な道、危険な道などを具体的にまとめさせて確認させる。
3月 災害安全	12 地しんさい害から身を守る	1 地しんが起きたら	学校内や通学路で地震が発生したときの身の守り方の確認	危険なものをから離れて姿勢を低くし、頭と体を守る避難行動がとれるようにさせる。
		2 つ波―大きな地しんの後にくるきけん	二次災害に対する心がまえの必要の理解	避難場所と津波の被害を避ける方法を確認させる。
		3 地しんさい害のじょうほう	災害発生に関する情報の入手と活用	緊急地震速報などの災害に関する情報を入手し、避難行動をとるために有効に活用できるようにさせる。
		4 地しんに対するそなえ	災害に対する日頃からの備えの重要性	災害への備えとして必要な事前の準備について話し合わせ、災害から身を守るようにさせる。
	学んだ ことを ふり返ろう		1年間の振り返り	チェックポイントは重要な点なので、できなかったところを知り該当箇所を振り返らせる。